



こんにちは！ダイトンです。
市ではみんなに納めていた
税金を1年間どのように使
ったかを「決算」として明ら
かにしているよ。

12月号では、その決算の内容
から市の財政状況がどのよ
うになっているのかを一緒に
見ていこう！

令和4年度決算

◇表1 令和4年度各会計決算額

(単位:千円)

会計名	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	翌年度に繰り 越すべき財源 (C)	実質収支 (A-B-C)
一般会計	53,836,243	52,564,099	9,833	1,262,311
特別会計				
火災共済事業	13,911	10,019	0	3,892
2駅周辺整備事業	19,846	19,846	0	0
国民健康保険	14,994,266	14,360,710	0	633,556
交通災害共済事業	17,501	16,020	0	1,481
介護保険	10,873,623	10,787,416	0	86,207
後期高齢者医療保険	1,967,836	1,895,527	0	72,309
合計	81,723,226	79,653,637	9,833	2,059,756

※合計額について、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

表2では、「一般会計」の歳出を、目的別に市民1人
当たりの支出額に置き換えているよ。令和4年度も
昨年度同様、子育て世帯などへの臨時特別給付金の
給付もあったし、民生費の金額が多くなっている
ね。また、小・中学校の長寿寿命化のための工事にた
くさんのお金を使ったから、教育費も
多くなっていることが分かるね。



◇表2 市民1人当たりの支出

目的	1人当たり の支出額	主な内容
民生費	202,095円	社会福祉(高齢者、障害者、子ども、生活保護など)のための費用
教育費	54,990円	小・中学校の施設の整備、文化事業、スポーツ事業などの教育関係の費用
土木費	54,514円	道路、橋、公園などの建設や維持のための費用
総務費	50,005円	市政運営のための事務費や財産の維持管理、選挙などに掛かる費用
衛生費	33,313円	健康増進、予防接種、環境保全やごみ処理など、健康や衛生環境を保持するための費用
公債費	32,156円	市が建物を建てたり、事業を行う際に借り入れたお金を返す費用
消防費	12,571円	消火活動をはじめ、災害が生じた場合の被害を軽減するための費用
議会費	2,537円	市議会運営に掛かる費用
その他(商工費、農林費)	7,225円	商工業、労働、農林業に掛かる費用
計	449,406円	

※令和5年3月31日現在の総人口(116,963人)で計算しています

市民1人当たりに使われたお金は

44万9,406円でした。

令和4年度 決算

大東の お財布事情

毎年、広報誌の6月号と12月号で
市の財政状況をお知らせしています。



表1、円グラフについて

まずは、入ってきたお金(歳入)と支払った
お金(歳出)の総額を見てみよう。

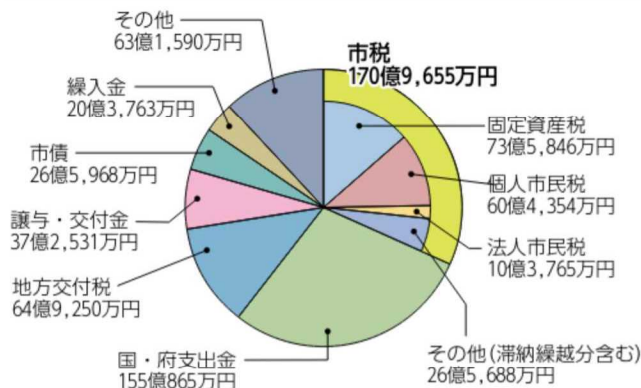
表1では、一般会計と6つの特別会計別に歳
入と歳出の額を示しているよ。令和4年度一
般会計は昨年の14億2,500万円の黒字から減
少し、12億6,200万円の黒字だったんだ。

ちなみに令和4年度は特別会計も含めた全
会計で赤字はなかったよ。

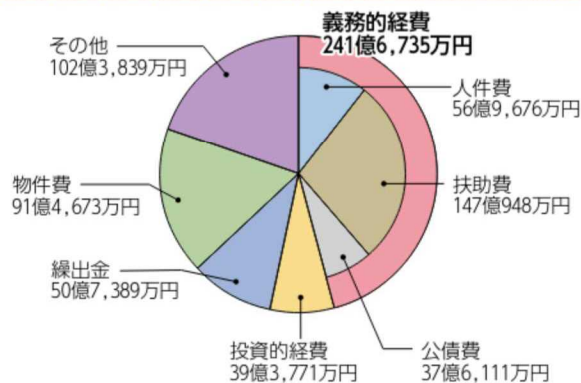
下にある円グラフで、「一般会計」の性質ご
との使い道を見てみよう。

◇令和4年度一般会計決算内訳

歳入(収入) 合計538億3,624万円



歳出(性質別に分けた支出) 合計525億6,409万円



※合計額について、端数処理の関係から内訳の計と合計が一致しない場合があります

令和4年度健全化判断比率

大東市は全ての指標で基準をクリアしているよ。



	大東市の比率など	早期健全化団体	財政再生団体
実質赤字比率	赤字なし	(12.07%)	(20.00%)
連結実質赤字比率	赤字なし	(17.07%)	(30.00%)
実質公債費比率	4.5%	(25.0%)	(35.0%)
将来負担比率	算定なし	(350.0%)	

市のお財布の健康診断

財政破綻を未然に防ぐことを目的とした法律(財政健全化法)があって、財政の健全度を診断する4つの指標を、市民の皆さんに毎年公表することが義務付けられているんだ。令和4年度は令和3年度より実質公債費比率は好転したよ。これは、昨年度は借入金の利率見直しの予定(借換え)があり、借換えを行わずに将来負担の軽減のため一括して借入金を返済したけど、令和4年度はその支払いがなかったから実質公債費比率が下がったんだ。市債(借入金)の現在高をみても昨年度より減っていることが分かるね。

令和5年度各会計の予算執行状況

(単位：千円、%)

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
一般会計	55,191,498	22,733,899	41.2	20,936,468	37.9
特別会計					
国民健康保険	15,109,366	5,858,241	38.8	5,356,885	35.5
交通災害共済事業	25,697	1,751	6.8	3,497	13.6
火災共済事業	37,507	4,090	10.9	7,106	18.9
介護保険	11,716,602	5,982,903	51.1	4,702,403	40.1
後期高齢者医療保険	2,081,983	749,579	36.0	611,693	29.4
2駅周辺整備事業	19,816	19,815	100.0	9,911	50.0
移管市営住宅特別事業	719,047	251,013	34.9	120,128	16.7
合計	84,901,516	35,601,291	41.9	31,748,091	37.4

今年度の上半期(9月30日現在)までの予算の動きだよ。



※予算額、収入済額、支出済額には、前年度からの繰越を含みます

市債の現在高

市民1人当たり／26万6,703円(昨年より5,584円減)

会計区分	令和5年9月30日現在※1	令和4年9月30日現在※2	増減額
一般会計	309億7,400万円	318億6,100万円	▲8億8,700万円
2駅周辺整備事業特別会計	1億2,800万円	1億4,700万円	▲1,900万円
合計	311億200万円	320億800万円	▲9億600万円

※一時借入金の現在高の状況は各会計とも0円です(令和5年9月30日現在)

※1 総人口(116,615人)で計算しています

※2 総人口(117,551人)で計算しています

市債って何だろう？

市の借金のことを「市債」と言うよ。借金というよくないイメージがあるけど、そうではないんだ。

みんなが使う公共施設や道路の整備をするときに、全てをその年の税金などで賄ってしまうと、他の必要な仕事やサービスができなくなってしまうんだ。そこで市債を発行して分割払いにすることで、毎年の財政負担を平準化させて世代間の公平性を保ち、ほかの行政サービスなどにもお金を使えるようにしているよ。

市の財産

令和5年9月30日現在

土地	974,779.96㎡(令和5年3月31日より98.45㎡増) 増減内容： 行政財産(法定外公共物)の用途廃止による増 98.45㎡
建物	390,117.95㎡(令和5年3月31日より増減なし)
財政調整基金	49億6,700万円(令和5年3月31日より398万円増)
その他の基金	181億1,900万円(令和5年3月31日より14億6,600万円増)

基金ってどういうもの？

市の貯金のことを「基金」と言うよ。基金には、使い道が決まっている特定目的基金と、財源不足を補う財政調整基金があるよ。

特定目的基金の中には公共施設や学校、市営住宅などの整備や、学校教育のためなどさまざまな目的のための基金があるんだよ。その中でもふるさと振興基金は災害対策や子育て支援の充実、まちづくりなどさまざまな市民サービスの向上に使われているんだ。

これからも健全な財政運営を行います

市ホームページの財政課のページでは、中期財政収支見通しや、全国レベルで財政状況を比較した「財政状況資料集」など、より詳細な資料を掲載しています。ぜひご覧ください。

問 財政課 ☎ 870・0405

